

# 平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	05010302	区	分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	交通安全対策事業	担当部署名	総務課			
		作成責任者職氏名	課長 森田 洋文	内線	221	
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)			
	05建設・交通	01生活道路等の維持	03交通安全施設の整備・充実			
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (      年度～      年度)		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等		
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	—		義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>交通安全対策委員会による交通安全意識啓発を行うことにより交通事故の防止を図る。</p> <p>②内容</p> <p>運転者講習会2回 富田林警察署管内交通安全協会への負担金 毎月15日に交通指導を実施</p>	<p>村民</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>毎月15日の森屋交差点での交通安全街頭指導を行うことにより、交通安全に対する意識の高揚につながっている。</p>	<p>高齢ドライバーの増加</p>

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	70	76	68	76	76			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財 一般財源	70	76	68	76	76		
人件費								
一般職員所要人員(人)(B)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	55	59	59	59	59	59		
総コスト費(千円)(A+C)	125	135	127	135	135			
人口あたりコスト(円)	21	22	21	22	22			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	交通指導の実施	回	10	10	100%	10	10
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 100% / 1 = 100% (A)

### III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	村民のドライバーの安全運転喚起啓発は必要であり大いに貢献している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	定期的な交通安全指導の実施により一応の効果がある。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	交通安全指導が幹線道路に限られるが、概ね効率は良い。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	すべての村民を対象としており公平である。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	14 / 16	88%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
100%	88%	94%	a
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小)                      b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止)                      c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

### IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
村民の交通安全啓発活動の実施であり、安全な生活確保のため、引き続き実施する。	

### V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
村民の交通安全啓発活動の実施であり、安全な生活確保のため、引き続き実施する必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
/	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
村民の交通安全啓発活動の実施であり、安全な生活確保のため、引き続き実施する必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止